

学校施設の防犯対策に係る点検・改善マニュアル作成の取組に関する調査研究

平成17年11月24日

平成18年 3月31日 一部改定

平成18年 4月 1日 一部改定

国立教育政策研究所長決定

1 趣旨

近年の学校を発生場所とする犯罪の件数の増加等を背景として、児童生徒等の安全確保及び学校における安全管理の一層の徹底が求められている。

このような状況を踏まえ、文部科学省では学校安全の充実に総合的に取り組む「子ども安心プロジェクト」等を実施しており、その一環として学校施設の防犯対策に係る点検・改善マニュアルの作成に関する取組等について、文部科学省と連携して調査研究を行い、今後の学校における防犯対策の一層の普及を推進する。

2 実施事項

- (1) 学校施設の防犯対策に係る点検・改善マニュアル作成の取組に関する調査
- (2) その他

3 実施方法

調査研究の実施に当たっては、文部科学省と連携の下、別紙の学識経験者等の協力を得て実施する。

4 実施期間

平成17年11月24日から平成19年3月31日までとする。

学校施設の防犯対策に係る点検・改善マニュアル作成の取組に関する調査研究協力者

(五十音順)

大島千明	千葉県教育庁教育振興部学校保健課指導主事 (平成18年3月31日まで)
粕谷周史	(社)日本防犯設備協会出入管理機器委員会特別委員・ (株)アート顧問
小湊裕一	千葉県教育庁教育振興部学校保健課主幹 (平成18年4月1日から)
瀬渡章子	奈良女子大学生生活環境学部教授
○長澤 悟	東洋大学工学部教授
林 正樹	足立区立千寿本町小学校長・全国学校安全教育研究会会長
廣瀬和徳	(株)教育環境研究所
山本俊哉	明治大学理工学部助教授

○：主査

なお、国立教育政策研究所においては、次の関係官が本報告書の作成に当たった。

丹沢 広行	文教施設研究センター長
山本 聖一郎	文教施設研究センター総括研究官
足立 剛一	文教施設研究センター専門調査員